



頓所友枝句集

Tansyu Tomoe

秋へ書く手紙

ふらんす堂

祝歌の続きのやうに雪降り積む

子の幸へ子の児の幸へ初明り

左馬数多嘶く賀状かな

娘婿「萬寿」提げ来る三日かな

凸凹の筆順に沸く小正月

東京の雪は饒舌日と遊ぶ

フランスパン噛み締めてゐる寒の底

風花や触れずに測る体温計

ためらひに終止符を打つ垂り雪

たたみ皺衣桁にあづけ春を待つ

小声にて一日早めの鬼やらひ

玉子焼き箸で返して春動く

春愁やメトロノームを遠ざけて

明治座の幟を捌く春一番

勘亭文字書き☐とあり梅の家

江の島や囀りこぼつ潮溜り

三月のあまたの涙地となれや

坂下に地番のとんで豆の花

二人なら平屋の暮し
小米花

歌声はきつとソプラノ
チューリップ

春風を味方に跳ねる
ランドセル

落柿舎を抜くる風あり
竹の秋

白梅や尼寺に動かぬ静寂あり

雨の日の映画で終る春休

縫目みな表の病衣養花天

花の前佇てば幸ある人となり

百年の桜は雲になりたがり

船人となりて桜のふところに

花筏貝にはなれず流さるる

止まることなき回遊魚の春愁

若
沖
の
細
き
象
の
目
春
惜
し
む

中
伊
豆
の
起
伏
を
走
る
山
葵
沢

太
陽
の
寿
命
う
か
が
ふ
蜃
気
楼

幸
せ
の
容
い
ろ
い
ろ
石
鹼
玉

珈琲はブラック憲法記念の日

みどりの日家を丸ごと洗ひたし

鯉幟空に水音生まれたり

掌にひよこの眠る聖五月

薔薇盛る色は無限のカーニバル

初鮎や良き火加減の跳ね姿

江戸前の風に吹かるる小判草

ぼうたんや真白に敵ふ色無くて

水買ふにいつしか慣れて芒種かな

紫陽花の白に始まる無言劇

鎌倉の谷を海とす濃紫陽花

こだはりは生醤油にあり冷奴

厨事譲りし刀自の夕端居

青黴に自暴自棄の香漂へり

塗りつぶす線画の余白明易し

二重虹逢魔が時を包みけり



句集 秋へ書く手紙 あきへかくてがみ

二〇一三年三月一日 初版発行

著者——頓所友枝

発行人——山岡喜美子

発行所——ふらんす堂

〒182-0002 東京都調布市仙川町一―一五―三八―二F

電話——〇三 (三三三三三六) 九〇六一 FAX〇三 (三三三三三六) 六九一

ホームページ <http://furansudo.com/> E-mail info@furansudo.com

振替——〇〇一七〇一―一八四一七三

装帧——君嶋真理子

印刷所——日本ハイコム㈱

製本所——柳松岳社

定価——本体二七〇〇円+税

ISBN9784781415284 C0092 ¥2700E

著者略歴

頓所友枝 (とんしょ・ともえ)

昭和24年 東京都町田市に生まれる

平成4年 小岩高校にてPTA句会に参加
池澤正雄先生に師事

平成5年 NHK学園に入会・能村研三先生に師事

平成6年 「沖」入会・能村登四郎先生・林翔先生に師事

平成12年 「沖」潮鳴集同人

平成25年 「沖」蒼茫集同人・珊瑚賞受賞・俳人協会幹事
句集『冬の金魚』